

第3回上映会

1981年10月7日(水)
会場—高円寺会館
(東京・高円寺)

◎上映プログラム

I K I F			
アニメーション百科	'81	8mm	4'00"
風鈴	'81	8mm	4'00"
たあとみい	'81	8mm	1'00"
浅野優子			
ベリザンナ	'81	8mm	2'30"
飯面雅子			
藁半紙	'81	8mm	2'00"
もぐらくん	'74	8mm	0'45"
石田純章			
IMAGE (心象) 4	'81	8mm	4'00"
石田純章+山崎ゆり			
とおりあめ	'81	8mm	5'08"
構造美学研究所			
VISUAL FIELD 1981	'81	8mm	2'00"
小山佳織			
儀式	'81	8mm	2'30"
鈴木敬			
	'81	8mm	6'00"
	'81	8mm	6'00"
	'81	8mm	6'00"
関口和博			
POPOP	'81	8mm	3'00"
田辺幸夫			
かげ1	'81	8mm	2'00"
かげ approach	'81	8mm	1'00"
那部純夫			
プロミネンス	'81	8mm	3'15"
昼間行雄			
ちかちかねこ	'81	8mm	2'00"
幻化-2	'81	8mm	2'00"
松井理和子			
NIZI	'81	8mm	2'03"
まつばらあつし			
キネマボリス	'81	8mm	4'30"
峰岸恵一			
虚空虚像	'81	8mm	5'00"
ICE CREAM CONNECTION	'81	8mm	5'00"
INNER BALL	'81	8mm	3'45"
椋計人			
移動	'81	8mm	3'00"
きのこ	'81	8mm	0'30"
やすのゆうじ			
A by-product	'81	8mm	2'13"
COLORING その2	'81	8mm	1'27"

■第3回上映会について

〈第3回上映会進行責任 石田純章〉

第一回、第二回の上映会をアニメーション80の活動における「起」とするならば、第三回上映会からは、「承」の段階に入ったということが出来ます。

それまでの活動によって、作品発表の場を持つ事、つまり上映会を開催することが現実のものとなり、アニメーション80の活動は第二の段階をむかえました。そこで、第三回上映会を開くにあたり、アニメーション80の運営に関して、会の活動をこれから先、長く続けてゆくためには、どのようなスタイルでやればよいのか、参加者各自が将来自分で上映会を開けるようになるにはどうすればよいのか、という事を主眼にして、いろいろと検討してゆきました。

その結果、上映会の開催に関しては、それまで行なわれていた上映会場側との提携スタイルをやめ、アニメーション80の完全自主運営を行ないました。これにより会の活動は、より柔軟なものとなり、会場の選定から、PR、スケジュールの設定など、上映会開催に必要な事の全てを自由に決められるようになり、上映会のたびに、今度はこうしてみよう、次はここを変えてみようというように、いろいろな形をためす事ができるようになりました。

また、アニメーション80の運営について改めた事は、進行責任をはじめとして、パンフレット制作、チラシの配布、映写係などの様々な役割を上映会ごとの持ちまわり制とし、各自が上映会開催のプロセスをひと通り体験できるように配慮しました。

第3回上映会では、運営費をいかに節減するかという事も検討されました。

その結果、上映会場に公民館を選んだわけですが、開催日の自由がきかず平日の上映となり、入場者数があまりのびなかったとか、手続きがめんどうで、使用の際もいろいろとやかましい、といったマイナス面がありました。

第一回、第二回はゼロから始めることの苦勞がありました。第三回からは、続けるための苦勞、より良くするための試行錯誤が始まりました。これは参加者各自の作品創りにも同様にあてはまる事で、第十回上映会を、会にとっても作品にとっても一つの区切り「転」として、より高い「結」に向って進んで行ければと思います。

進行責任 ■ 石田純章

チラシ ■ 田辺幸夫

案内状・チケット ■ I K I F

プログラム ■ 飯面雅子

映写 ■ 昼間行雄

会計 ■ 小山佳織

第4回上映会

1982年5月8日(土)9日(日)

会場—シネプラザ スペース50
(東京・恵比寿)

◎上映プログラム

IKIF			
アニメーション百科	'82	8mm	4'00"
走馬燈(1)	'82	8mm	3'00"
浅野優子			
BAMBIÑO	'82	8mm	2'00"
晴れ	'82	8mm	3'00"
飯面雅子			
姫如苑	'82	8mm	3'40"
石田純章			
青い鳥をつかまえろ	'82	16mm	4'00"
小山佳織			
燈籠花火	'82	8mm	3'00"
鈴木敬			
IN MEMORIAL	'82	8mm	3'00"
CAIE-B-1982	'82	8mm	8'00"
関口和博			
○△□	'82	8mm	2'00"
田辺幸夫			
かげ3	'82	8mm	6'30"
昼間行雄			
感光帯	'82	8mm	2'30"
フィルムの記憶へ……	'82	8mm	6'00"
松井理和子			
残像	'82	8mm	2'30"
まつばらあつし			
Lunatic	'81	8mm	4'00"
峰岸恵一			
LOCATION	'81	8mm	3'00"
EGG	'82	8mm	6'28"
ANA-METED COLLECTION	'82	8mm	3'00"
WATER (水)	'82	8mm	10'00"
やすのゆうじ			
BUGIE CALL COLOR	'82	8mm	1'41"
童夢想	'82	8mm	1'23"
山崎ゆり			
—どう?	'82	8mm	1'30"
渡部隆			
The Four-dimensional Sight	'82	8mm	2'25"
SPIN	'82	8mm	3'00"

■第4回上映会について

〈第4回上映会進行責任 石田園子〉

発足後2年目、メンバーの大部分が卒業、就職等をへて、学生という身分から社会人となる。—その年5月の上映会。アニメーション80第4回上映会の概要を簡単に言ってしまうとこのようになります。学生から社会人になることがそんなに大きな問題だったという気もしませんが、それでも社会人になりたてのメンバーは皆、少なからず今後の作品作りへの不安はあったようでした。パンフレットのコメントにもそんな内容がいくつかあり、ちょっとした人生の転機みたいな空気が流れていたと思います。

かと言って、それまでのアニメーション80は学生の寄り集まりだけの集団だったのかというところでもなくて、私も含めて何人かはすでに働きながら作品を作っていました。しかし学生が多数派だったこれまでに比べ学生が少数派になってしまうのは事実で、アニメーション80を続けるための障害には間違いありません。ただ、だから特別どうだという事もなく、まあみんな自由な時間が減るわけだから、上映会もあまり負担にならない様に、労力をかけずにやれたら良い、そしてその分力を各個人の作品の制作の方にまわしたいね。というような感じで進んでいったように思います。

さて、上映会ですが、会場は値段と設備(8mmと16mmプロジェクターが映写室に備えつけてあり、機材を運びこむ手間やセッティングが楽)の面で恵比寿のスペース50を新しく設定しました。ここは東京の自主上映のレンタルスペースの拠点となっていた所で、「グループえびせん」等もここを使っていました。知っている人が多いので集客的なメリットもあったわけです。ただ難点は狭いこと。満員になって会場から追い出されたメンバーは、狭い廊下の受付のあたりでじーっとしてはなりません。空いた回を見はからってまぎれ込んで作品をみるという状態で、空調も良くなく開放的な会場とは言えませんでした。

あとは、映像パフォーマンス的な佳織の「AQUA-MICANS」の為の試みがこの会場では上映が難しい点で断念した以外は特に大きな問題もなく終了しました。

その後、心配していた作品やメンバーの減少もなく、今に至っています。むしろあの頃に比べてメンバーが関ったイベントや上映会(アニメ80以外)は増えていますし、そんな活動の中から新しい人の関りができて、アニメ80に新入参加するというケースもしばしばあって、適当に、固まらず変化しているようです。

作品を作り続ける人たちがアニメーション80という海の中でただよっていて、年に2回水面に浮かび上がっては上映会をひらいています。10回目の海はもうすぐです。

進行責任 ■ 石田園子

チラシ・案内状・チケット ■ 関口和博

パンフレット ■ 松井理和子 + 飯面雅子

映写 ■ 昼間行雄 + 那部純夫

会計 ■ 小山佳織

■アンケート抜粋

●おもしろかったものが多いが、個人映画趣味で作品を人に見せることを重視していないようなものもある。作るということは、作家の個人的発言であっても、作品は自立して第三者の視線にたえるものだと思うのです。だから仕上がられるものが、作者がなんべんもみて、あきなかったものをみせるぐらいの気が欲しいと思います。皆さんたっしやな作り手で、特に音楽とのシンクロ性はすぐれていたように思いました。これから継続して上映会をやして下さい。続けることはたいへん大切なことです。

(会社員・男・町田市)

●うーん、何ていったらいいか、私はアニメーションを単に「視覚」だけのものにしてほしくないです。この上映会でみたかぎりでは、“ココロをウォークマンで聞きながらのんでいる”そんなものです。アニメって見せるものだけど、見せる形の美しさだけでよいのですか。(学生・女・所沢市)

●このような上映会に来たのは初めてです。でもって8ミリアニメというものがとても好きになりました。その辺にころがっている素材を持って来て8ミリ映画にしてみよう、それが不思議な効果をかもしだす。LOCATION, WATERがその意味でおもしろかった。

(学生・男・三郷市)

●僕としてはグループ「えびせん」や「PAF」のような上映会が楽しいけれど画一化が良いことは思われないから、今回のような上映会があってもそれはかまわないと思う。

(皿洗い・男・千葉市)

●とにかく目につかれた。作品傾向は前回と同じだったのでは？(学生・男・渋谷区)

●前回と大分傾向の違う作品が多いようでした。(会社員・女・小金井市)

●数ある上映会の中でも、最も品が良く、richで、質の高いものだと思う。がんばってください。(学生・男・筑波市)

●俗に言うセル画と思われるものがつかわれていなかったのがさびしい！こう言うあつまりはすきだ！(学生・男・北区)

●セルアニメは？

セルアニメはやらないんですか？

セルアニメありませんでしたねー？

セルアニメ見たさにハルバルきたのに！！

(学生・男・練馬区)

①こんなにストレートなアンケートの返答は、ただ脱帽あるのみです。

●はたして私は映像づくりのお勉強の発表会を見に来たのだろうか？制作者や制作している人にとっては楽しいだろうが、見るがわにとっては映像パターンや技術のカタログを見ている感があった。私は作品を見に来たのであった。映像がなんらかの表現の手段である以上、お勉強の発表会であってはならないと思う。(無記名)

●「アニメーション」の上映会なんだから、実写の作品は出さないで欲しかった。これ

で500円は高いですよー！！(無記名)

●単なるおもいつきの自己満足的なんが多すぎる。お金とるならもう少し考えてほしい。がむばってね。(無記名)

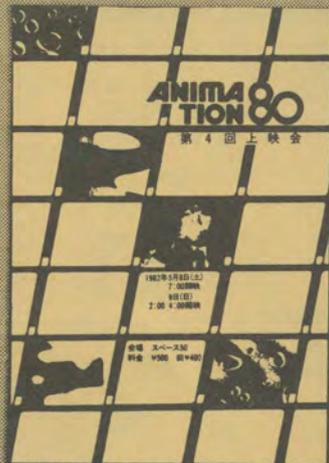
●これもアニメーションなのかな？というのも多いので、アニメ好きの友だちはいっしょに来てくれませんか。でも私は好きです。今度は特撮好きの子に教えてあげようと思います。私も作りたい。

(会社員・女・世田谷区)

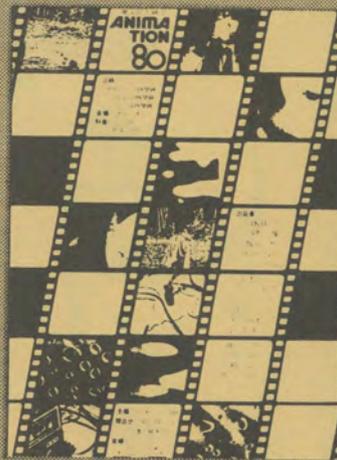
②特撮好きの子だけじゃなく、機械が好き、変わったもの好き、刺激好きの子たちにも教えてあげてください。あ、詩が好きなき子にも。

●東京の空は星がみえない
チールランプは炎のようです
かつ色の肌のマネキン人形
オウム色をしたパーム・ツリーを
光をもてあそぶ子供
67階からみた風景
大好きなミッキーマウス
焦げたにおい
メリーゴーランドの永遠性
特大のオムレツ
ニューウェイブ
らせん階段
1941年の幻想映画
イメージの集積

(会社員・女・?)



▲上映会パンフレット



▲チラシ



▲チケット

第5回上映会

1982年11月13日(土) 14日(日)

会場—シネプラザ スペース50
(東京・恵比寿)

◎上映プログラム

I K I F			
アニメーション百科	'82	8mm	4'00"
AFTER IMAGE 萤火	'82	16mm	15'00"
浅野優子			
螺旋迷宮	'82	16mm	2'50"
石田純章			
いちにち一窓ガラス篇一	'82	16mm	2'30"
大川比呂之			
イダム2	'82	8mm	0'30"
小山佳織			
低下	'82	8mm	2'30"
鈴木敬			
なき王妃のための	'82	8mm	4'00"
バグァーナ			
サッポロ・シティ・	'82	8mm	4'00"
スタンダード			
田辺幸夫			
AUTUMNAL TINTS 1981	'81	8mm	2'00"
なべすみお			
para-sight '82	'82	8mm	2'10"
昼間行雄			
マクロゾーン	'82	8mm	6'00"
大慧星	'82	8mm	5'00"
松井理和子			
Waiting for	'82	8mm	2'00"
まつばらあつし			
The Variable Stars No.2	'82	8mm	6'00"
ウ°	'82	16mm	3'00"
峰岸恵一			
PULSE II	'82	8mm	5'00"
やすのゆうじ			
からことば	'82	8mm	1'45"
SPEEDN	'82	8mm	1'45"
ブーレ	'82	8mm	1'30"
山崎ゆり			
あんからめいしん	'82	8mm	3'00"
渡辺亮			
STILL WAY	'82	8mm	1'46"

■第5回上映会について

〈第5回上映会進行責任 関口和博〉

第5回アニメーション80上映会の思い出……ということは何を書こうかと思

いめぐらすのだけれど。私にとってアニメーション80の上映会というのは、内容がさまざまなフィルム上映会なので、フィルムを作っている上で起こる、上映会という行為でしかなかった。

第1回はとにかく、あまり思い出はありませんでした。

ただ、イライラしていた。

進行責任というのは、上映会の会場やパンフレット、チラシやチケット等のデザイン、上映係、音響係などの手配をスムーズに進行させるわけで、自分では何も出来ない。そして当日、出品予定作品が1つでも出品できないとすべてがパーになる。

つまり未完成の上映会になってしまう。かと言って、作品がいいかげんであってはならない。

自分では何も出来ないのでイライラする。しかし、進行責任をやったおかげで、上映会を簡単に行なうことが出来るということを知りました。

そして、上映企画内容を工夫することにより、1つの、作品の中での表現を、もっと大きな表現に出来ると思った。

と、いう訳で私が進行責任をした時の思い出とは、フィルム以外の表現要素を発見した思い出と言える。

だから、フィルムを作っている人は、上映会の企画も自分でやってみることをすすめたい。

進行責任 ■ 関口和博

チラシ・案内状・チケット ■

なべすみお + 渡辺亮

パンフレット ■ 松井理和子 + 飯面雅子

映写 ■ まつばらあつし

会計 ■ 浅野優子

司会 ■ 峰岸恵一

■アンケート抜粋

●脳みそが腐ってらっしゃる方が何人かいらっしゃるようだ。私のみそは、10℃以下で保存しなけりゃならないが、この人たちは-20℃ぐらいだろうか。(中略)“いちにち”を見てまともな人もいるノと一安心してしまった。(学生・男・横浜市)

●全体的に絵と音楽が妙にマッチしすぎて刺激が少ない作品が多いように思われた。(これは音楽のない作品にもいえる。)

(学生・男・茨城県)

●いろんなひとがいるなとおもいました。(ピルネウジ・男・目黒区)

●はっきり言っておもしろくなかった。レベルが下がっているうぬぬではなく、わずかな時間でフィルムを上げようという、つまり“手抜き”としか思えないものが多かった。(中略)2年前にこの上映会をみたときは感激でいっぱいだった気がする。メジャーでもマイナーでもエンタテインメントでもない映像をつくってください。

(学生・男・つくば)

●実験的な作品で、創作意欲を感じました。ところどころのピンボケがなければもっとよかったんですが… (?・女・武蔵野市)

●“抽象”に甘えた作品ばかりでイライラしてくる。映像に奥行きを感じられるものが少なく、もっと広がりを。

(ロックミュージシャン・男・東村山市)

●貴会の上映会では、大別して観る作品と眺める作品があると思うんですが、そのならべ方をもう少し考えてほしい。

(高校生・男・江戸川区)

⑦うーんいいところに気がついたね。これはどんな映像にもいえることだと思いますが、意識してならべるのはなかなかムズカシイです。

●「サッポロシティスタンダード」(注・CG作品)もなかなかでした。これからはこの手のが増えていくでしょうね。

実写ものが多いのですが、動画ものも少しお願いします。(学生・女・練馬区)

●アニメーションというからドラエもんとかのび太くんの活躍するようなやつかと思ったりがうのですね。何となく全体的につかれるものが多かったように思います。私ははじめて観たのですが。(中略)全体的にはデイヴィッド・ボウイーの映画は人の気持ちをイライラさせる。たいくつだという言葉を思い出しながら見てしまいました。何となく。(学生・男・千葉県)

⑧疲れたわりにはたくさん書いてくれました。ドラエもんとかボウイーをひきあいに出すところなど趣味の広さがしのべれます。

●5月にも来たのですが、その時も今日も発表した人の作品を見ると、その人なりに1つのこと(または、いくつかいっしょに)にこだわりつづけている様で、とても気持ちよかったです。やっぱ、目先のおもしろさよりも、意識下で誰でもひそめている様

な感覚にとりくんだ作品が、私はアニメーションで表現できるいいものを見つけている人の作品だと思いました。マル がんばって下さい。(無記名)

⑨次の2つは、まつばらあつし“The Variable Stars No.2”について書かれたものと思われま。

●くろいわくをなんかいかいていたくだらねーさくひんが全体のひんいをさいてーげんにおとした。かねかせ。

(学生・男・千葉県)

●まわりにわくができていくまつばらさんののは、中央の白いところをみているとずっとずっとみていると、幻覚をみているようでよかった。(中略)空間のうごめいていく透明なものだけがなつかしくそれみているだけで、からだか、まわりか、ねつがまわりだし、そしてみえないものがまわりだす。私のみるのは、同じように何回もくりかえす美しいものです。

(事務員・女・中野区)

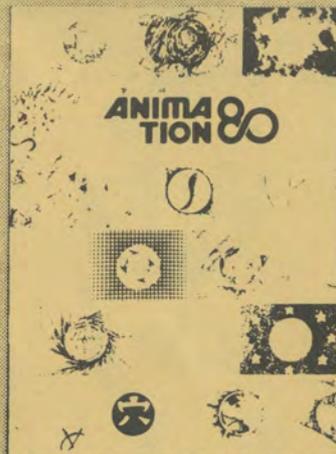
●映写一下手。(映像作家・男・福岡市)

●なぜ飯面女史の作品を上映しなかったのですか。彼女はスターなのだから旧作でよいから上映すべし。(会社員・男・埼玉県)

●うーむ。思うのですが、アニメーション80ってアニメっぽくもないし、かといって実験映画でもないし、なんとなくショートショートってな気がします。

(会社員・男・市川市)

●セルアニメが見たいです。目が見つかりました。(学生・女・目黒区)



▲上映会パンフレット



▲チラシ

〔関西第1回上映会〕

1983年2月12日(土)

会場—北市民教養ルーム
(大阪・梅田)

◎上映プログラム

上映プログラム	年	mm	分
IKIF			
アニメーション百科	'82	8mm	7'00"
浅野優子			
螺旋迷宮	'82	16mm	2'50"
アルコミンミン	'83	8mm	0'45"
飯面雅子			
猿猴の夢	'82	8mm	4'00"
浮遊卵	'80	8mm	2'30"
石田純章			
IMAGE (心象) 4	'82	16mm	4'00"
いちにち一窓ガラス篇一	'82	16mm	2'30"
大川比呂之			
トラウマ	'82	8mm	2'00"
イダム2	'82	8mm	0'30"
構造美学研究所			
1:2:3 1981	'81	8mm	3'00"
小山佳織			
燈籠花火	'82	8mm	3'00"
終曲	'81	8mm	3'30"
鈴木敬			
再成されない記憶の中	'83	8mm	5'00"
にたらずむ君			
関口和博			
BE	'81	8mm	2'00"
田辺幸夫			
Colour	'81	8mm	2'05"
かげ3	'82	8mm	6'30"
なべすみお			
Para-Sight	'82	8mm	2'10"
プロミネンス	'81	8mm	3'15"
昼間行雄			
PRISM-2	'80	8mm	2'30"
大彗星	'82	8mm	5'00"
松井理和子			
残像	'82	8mm	2'30"
ランドスケープ	'82	8mm	3'20"
まつばらあつし			
ひとこま映画	'80	16mm	0'1/8"
峰岸恵一			
アイスクリーム	'81	8mm	3'00"
コネクション			
虚空虚像	'81	8mm	5'00"
やすのゆうじ			
からことば	'82	8mm	1'45"
ブルー	'82	8mm	1'30"
A by Product	'82	8mm	2'10"
山崎ゆり			
あんからめいしん	'82	8mm	3'00"
渡部隆			
The Four-dimensional Sight	'82	8mm	2'25"
SPIN	'82	8mm	3'00"
渡辺亮			
STILL WAY	'82	8mm	1'46"

進行責任 ■ 渡辺亮

チラシ・案内状・チケット ■ 渡辺亮

映写 ■ 峰岸恵一

協力 ■ H.A.G

出張メンバー ■

渡辺亮

IKIF

峰岸恵一

田辺幸夫

山崎ゆり

■ 関西第1回上映会について

〈関西第1回上映会進行責任 渡辺亮〉

アニメーション80が関西で上映会を行なうようになったきっかけは、神戸の友だちから「アニメーション80の作品が観たい!」「どうして、アニメーション80は関西で上映会をしないのか?」と聞かれたことからです。当時アニメーション80は地方の上映会を行なっておらず、作品を観る機会はメンバーの一部が出品するP・A・Fや実験映画祭などに限られており、アニメーション80が主催する上映会は東京で行なわれる年2回の新作発表会に限定されていました。これはアニメーション80が個人を単位とする作家の集合体であり、作家自らが作品の発表の場を作り出していく為の協力機関として成立するという基本姿勢から考えれば致し方ないことで、地方において上映会を開催するという事はメンバーにとって非常に負担が大きく、この時まで実現することができなかったのです。しかしアニメーション80も第5回上映会を迎え、そろそろ地方においても上映会をしていい頃ではないかと考えていた私にとって、この友人達の声は非常に心強いものでした。

その結果、神戸出身でもある私を進行責任として関西第1回上映会が開催されることとなり、協力団体としてはH・A・Gにお願いすることとなったのです。H・A・Gの田原氏には会場の選定から情宣までをお願いし、上映器材などに関しては東京より車に積んで運ぶこととなったのですが、運搬途中、豪雪のため名神を迂回するというハプニングがあったり、印刷物を実家のコピーで刷ろうとすると故障したりと思わぬトラブルに巻き込まれましたが、関西第1回上映会そのものは、順調に行なうことができ、予想を上回る動員と高い回収率のアンケートに代表されるように好評を博し、幕を閉じることができました。私としても持ち込んだFilmがアニメーション80の第1回~第5回の作品群の中から作者にセレクションしてもらった物だけに自信のようなものもあったのですが、やはり関西でアニメーション80の作品が受け入れられるかどうか一抹の不安もあり、安心したという所が本当の所です。最後に、上映会の際受付を手伝っていただいた伊藤さん島さん、映写機を運んでくれた木原君、前売りチケットを売って戴いた各サークルの方々、そして協力して戴いたH・A・Gの方々、どうもありがとうございました。

第6回上映会

1983年6月4日(土) 5日(日)

会場—シネプラザ スペース50
(東京・恵比寿)

◎上映プログラム

I K I F			
アニメーション百科	'83	8mm	3'00"
回転A B	'83	8mm	2'30"
走馬燈(二)	'83	8mm	3'00"
転化	'83	8mm	5'00"
浅野優子			
月の娘	'83	8mm	4'00"
雨宮慶太			
CLOUD	'81	8mm	5'00"
フィルム オブ	'82	8mm	4'00"
イラストレーション 2			
飯面雅子			
綺羅星	'83	8mm	2'30"
石田純章			
いちにち	'83	16mm	6'00"
—休みの日には…篇—			
大川比呂之			
COOL SWEAT 2 文	'83	8mm	3'00"
小山佳織			
高架	'82	8mm	1'30"
佐々木こづ枝			
ROKKAQUISM	'83	8mm	2'30"
鈴木敬			
STAR SAPHIRE	'83	8mm	4'00"
田辺幸夫			
かげ4	'83	8mm	4'50"
橋本満明			
ANMONATO ILLUSION	'83	16mm	3'20"
昼間行雄			
CLEAR BACK PROCESS	'83	8mm	5'00"
松井理和子			
チイチイパッパ	'83	8mm	3'00"
まつばらあつし			
CINEMA COLOR-C	'83	8mm	3'00"
三木仁			
FLASH	'82	8mm	3'00"
峰岸恵一			
はじめて手に入れた	'83	8mm	4'00"
車との、さよなら			
PULSE	'82	16mm	8'30"
山崎ゆり			
善心	'83	8mm	3'00"
渡辺亮			
DANCING	'83	8mm	3'00"

■第6回上映会について

〈第6回上映会進行責任 渡辺亮〉

第6回上映会は、恵比寿のスペース50で行なった最後の上映会で、この頃になるとスペース50のキャパシティがアニメーション80には少々狭くとなり、アンケートなどでも、もう少し広いスペースで上映会をしてほしい。といった意見が多くなって来る。その上メンバーが20数名いるアニメーション80としては、メンバーがたむろする場所のないこのスペース50は、少々居心地の悪いスペースでもあった。こういった理由から次回からは渋谷のユーロスペースというホールへと上映会場を移すことになるのだが、そうはいつても連続して3度の上映会を催したスペース50は、アニメーション80によく来てくれる人達にとっては、非常になじみ深い所となっており、第6回上映会では過去最高の入場者数を記録している。

さて、アニメーション80は年に2度の上映会を催しているが、この頃になるとある種の傾向のようなものが現われてくる。それは、春の上映会の方が明るい傾向の作品が多く発表され、秋の上映会の方はどちらかという沈んだ傾向の作品が多く発表されるというものである。これは多分に作家たちの気分的なものの反映であって、気候その他の外的要因が個々の作家にあたえる影響がいかに大きいかの証左に他ならない。第6回上映会は春の上映会であり、やはり明るい傾向の作品が集まったが、中でも第6回上映会においては、雨宮慶太・佐々木こづ枝・橋本満明・三木仁の4名の新メンバーの加入があり、アニメーション80に新風を吹き込んでいる。雨宮氏と橋本氏は古世代の生物をモチーフとした動くイラストレーションともいべき作品を発表し既成のアニメーション80の作品群とは一線を画した。又、佐々木こづ枝さんは六角形を基本モチーフとしたデザインプロセス的アニメーション作品を発表し、その作品の完成度とともに、アニメーション80初の子持ち作家ということでメンバーから驚きの声と共に迎えられている。三木氏は新メンバーの中では最年少であるが東大に籍を置く映画青年であり、映画作りで培ったテクニックを使い、形体を追い込んでいくライブ的作品を発表した。83年はこのような新メンバーを加え、アニメーション80の一段の飛躍の年になったように思う。

進行責任 ■ 渡辺亮

チラシ・案内状・チケット ■ I K I F

パンフレット ■ 大川比呂之 + 松井理和子

映写 ■

石田純章 + 浅野優子 + 鈴木敬・峰岸恵一

会計 ■ 浅野優子